



図書館だより

2022年5月号 NO. 390

北茨城市立図書館

茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16

TEL 0293-42-1451



5月は図書館でゆっくりしてみよう！！

新年度が始まり、1ヶ月が過ぎました。進級・入学・就職等された方々は新しい生活に慣れてきた頃でしょうか。5月の連休明けによく耳にするのが、「五月病」という言葉です。

新しい生活が始まり、緊張や不安の中で疲れがピークに達しゴールデンウィーク後に何となく憂鬱になりやる気が起きなくなってしまうので「五月病」と言われます。とにかくストレスが原因で起こります。自分にあったストレス解消方法を見つけ元気に過ごしていただきたいと思います。方法の一つに、図書館はいかがでしょうか。北茨城市立図書館には様々なジャンルの本がたくさんあります。2階の閲覧席からは大北川が見え河原が新緑で清々しい景色や野鳥を見ながらの読書は癒されそうです。お気に入りの本を見つけたら、1階のカフェでコーヒーを飲みながらの読書もオシャレですね。読書に疲れたら、図書館前のウォーキングロードを散歩して気分転換。あっという間に1日が過ぎてしまうこと間違いなし。5月はゴールデンウィーク中も月曜日以外は開館しています。土・日曜日にも開館していますので自分の時間を作り足を運んでみませんか。

b y チッピー

《 図書館カレンダー 》

■ = 休館日です。

★ 開館時間 : 午前9時30分～午後6時 ★

☆ 2022年5月 ☆

☆ 6月 ☆

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		



★ YABOOKご紹介 ★



『階段ランナー』

一般書 913.6 ヨシ 吉野万理子／著 徳間書店

横浜の高校 2 年生の奥貫広夢は家族のトラブルにより水泳部を退部した。また、三上瑠衣は長年続けてきた卓球で、全国大会を目指していたがイップスになってしまう。

それぞれが悩みを抱えている中で二人は、社会科教師の高桑先生との縁で「JR 京都駅ビル大階段駆け上がり大会」の存在を知ることになる。その高桑先生はまた、身内の事情により教師を退職し、地元の京都へ帰ることになっていた。やがて二人は、自称「階段研究家」の高桑先生を書くブログを通し、階段に魅了されるようになり…。

実際にある「JR 京都駅ビル大階段駆け上がり大会」を舞台に、ちょっぴりキュンとしたり、切なくなったりの青春ストーリー。感動のラストシーンが、読後に爽快感を残してくれました。

b



図書館員のひと一言

5月10日～16日は、愛鳥週間です。

今月の2階企画展示コーナーでは、愛鳥週間にちなんで、鳥に関する本を集めて展示しています。その中から、お薦めの本をご紹介します。

☆ 今日からはじめるバードライフ！ ☆

一般書488イY 一日一種 / 著 文一総合出版

これからバードウォッチングを始めたいと考えている方にお薦めの一冊です。鳥の探し方、道具の選び方、写真撮影の仕方などを漫画とイラストで解説します。



☆ 日本のかわいい小鳥 ☆

一般書488二 ♪鳥くん / 監修 エムディエヌコーポレーション

シジュウカラ、シマエナガ、メジロ、ヤマガラ、スズメ、カワセミ……。国内に生息する小鳥を、鳴き声（さえずりと地鳴き）と写真で紹介します。

☆ 世界の国鳥 ☆

一般書488セ アフロ / 写真 水野 久美 / テキスト 青幻舎

国鳥とは、各国が国のシンボル、象徴としている鳥のことで、国旗や国章、紙幣などに描かれることもあります。日本のキジをはじめ、世界36ヶ国の国鳥の生態を、美しい写真とともに解説します。

by みーやん





◇ **ひとりでカラカサしてゆく** ◇

一般書 913.6 エク 江國 香織 / 著 新潮社

大晦日の夜、ホテルに集った80歳過ぎの3人の男女。いつものように昔話をして、お酒や食事を楽しみ、そうして一緒に自殺した。

物語は、彼らの残された家族や親しい友人たちの、その後の日々を淡々とえがく。ときおり、3人の回想や、最期の時間も織りまぜながら。ごく自然のここのように。

強固な結びつきにはまちがないけれど、どこかやわらかく、風にたゆむ糸みたいな、かろやかなつながり。

多分、この物語は、語られていないところ、表れていないところに、意味があるような気のする。口に出して伝えるまえの、心の中で遊ばせている言葉にならない言葉にこそ、ほんとうの言葉があふれているのに似て。

by ミカゲ

◇ **タヌキの土井くん** ◇

児童書 913ト 富安陽子 作・大島妙子 画

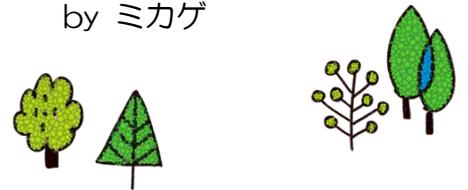
さんかく山のふもとの山下小学校。

新学年の始まりの朝。アカネちゃんが登校すると、もう教室に来ている子がいます。アカネちゃんに気づいて「オハヨウサン、サン、オハヨウサン！」とあいさつするのはなぜか土井君の席に座ったタヌキ！

土井くんがタヌキだと知った学校のみんなは!?

小さな学校のゆかいなお話です。

by チョビコ



◇ **えんどうまめばあさんとそらまめじいさんのいそがしい毎日** ◇

児童書 Eエン 松岡享子 原案・文 降矢なな 文・絵 福音館書店

ちいさな いえに、えんどうまめばあさんと そらまめじいさんが、なかよく くらしています。

ただ、ひとつだけ こまったことがあります。なにかを していても、ほかに やりたいことが みつかると、すぐに はじめないと きがすまないのです。そして…。

★今年の1月に亡くなった、「くまのパティントンシリーズ」などの訳書で知られ、東京子ども図書館の名誉理事長の松岡享子さんの最後の一冊です。表紙を開くと----「暮らす」ということが大事。いそがしく、たのしくね。----という松岡さんの言葉がありました。石井桃子さんと共に、日本の児童文学界を支えてきた大きな存在でした。ご冥福をお祈りいたします。

by ビクトリア



◇ **3かいなかしたろか** ◇

児童書 Eサン くすのき しげのり / 作 石井 聖岳 / え 東洋館出版社

となりのせきの たかのりくんは、ちょっと えらそうな ところが、はなにつく。さんすうのとき、「ここ、まちがえてるで！ しっかりもんだい みなよ。」なんて、いってくる。

あるひの やすみじかん。あそんでいた たかのりくんのかおに、ボールがぶつかった。たかのりくんは、おおごえでなきだした。そのとき、ぼくは…。

by みーやん



